

10月22日(土)と23日(日)小田垣雅也先生を迎えて特別伝道集会をいたします。集会のビラ配布などにご協力ください。先生の著作「四季のパンセ」(二千円)をお求めください。

#### —集会状況—

|             | 男  | 女  | 計  |
|-------------|----|----|----|
| 主日礼拝9/25    | 26 | 49 | 75 |
| 教会学校 子供9/25 | 9  | 13 | 22 |
| 大人9/25      | 8  | 9  | 17 |
| 成人科9/25     | 1  | 3  | 4  |
| 洋光台集会9/28   | 1  | 10 | 11 |
| 入門講座9/29    | 4  | 5  | 9  |

#### —牧師室から—

教会学校教師会では来年度、港南台教会独自のカリキュラムを作ろうと、その準備を進めている。今までは教団出版局の「教師の友」を用いていたが、どうも使いにくい。昨年、蒔田教会の宗野鏡子先生の講演を聞いて刺激を受け

独自のカリキュラムを作ろうということになった。

教師会では、イエス・キリストの生涯、そして言葉と業を中心に教えたいと来年はマルコ福音書を選んだ。かつて教会学校に通った人は先生の人柄と楽しい行事の方をよく覚えていられる。そうであろう。しかし教会学校ではイエス・キリストがどんな方であったのか、どんなお話をし、どんな事をされたのか基本的なことを伝えておく義務がある。時代の問題を聖書に無理矢理に結びつけたような話よりまずイエス・キリストその方を伝えたいと思っている。二つ目は、教会暦の尊重である。クリスマス、イースター、ペンテコステの三大祭を中心に、その出来事を聖書から伝えていきたい。もう一つは、教会学校は「学校」と言われているが、あくまで教会の業である。教会全体で受け止め、関わっていくべきものである。現在、教会学校との合同礼拝を年三回持っているが、それを増やしていきたい。先生方の労苦に心から感謝である。

## 週 報

1994年10月2日 聖霊降臨節第20主日

世界聖餐日 世界宣教の日

巻15 27号

1994年度教会主題

「十字架のキリストを証する」

聖句 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

コリントの信徒への手紙一 6章20節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

### 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋 吉 隆 雄